

2019年12月16日
 遠州鉄道株式会社
 小田急電鉄株式会社

各位

遠州鉄道・小田急電鉄共同開催
 「MaaS シンポジウム in 浜松」の開催について

遠州鉄道株式会社（本社：浜松市中区旭町、社長：齊藤薫）と小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）では、MaaS シンポジウム「地方都市における MaaS の今後の展望～日本・世界の MaaS 最新動向～」を2020年2月18日（火）に、静岡県浜松市にて開催いたします。

記

1. 開催趣旨

日本や世界の「MaaS※」最新動向を学ぶとともに、地域課題の解決に「MaaS」を活用して取り組んでいる事例紹介を通じて、地方都市における「MaaS」の今後の展望と可能性を探る。

「※Mobility as a Service」

2. 開催概要

名称	地方都市における MaaS の今後の展望 ～日本・世界の MaaS 最新動向～
日時	2020年2月18日（火）13:30～17:30（開場：13:00）
会場	えんてつホール（静岡県浜松市中区旭町 12-1 遠鉄百貨店新館 8 階）
入場料	無料 先着 300 名
協力	国土交通省

3. プログラム

13:30～	基調講演	日本版MaaSの推進に向けて 重田 裕彦 氏（国土交通省 総合政策局 モビリティサービス推進課長）
13:50～	特別講演	MaaS の現在と未来～世界の潮流と日本版 MaaS～ 牧村 和彦 氏（一般財団法人計量計画研究所 理事兼研究本部企画戦略部長）
14:20～	休憩（10分）	
14:30～	取組紹介 1	地方交通事業者が MaaS に取り組む理由 齊藤 薫 氏（遠州鉄道株式会社 代表取締役社長）
15:00～	取組紹介 2	小田急が考える MaaS とは 西村 潤也 氏（小田急電鉄株式会社 経営戦略部 次世代モビリティチーム 統括リーダー）
15:30～	取組紹介 3	高松から発信する日本版 MaaS の取組 伊賀 大介 氏（高松市 交通政策課 課長補佐）
16:00～	休憩（15分）	
16:15～	パネルディスカッション	
17:00～	交流会	

【終了後】開催中の（※1）EMot（エモット）を使ったグルメイベント（※2）を体験（参加自由）
 ※プログラム内容（時間・講演者・講演内容など）は変更になる場合がございます。

4. 参加申し込み方法

下記のWEB申込フォームより、お申込みください。

(※定員に達し次第、申込受付は終了とさせていただきます)

URL <https://ux.nu/GnuyW>



5. 【参考】(※1) MaaS アプリ「EMot (エモット)」について

小田急電鉄が開発するオープンな共通データ基盤「MaaS Japan」を活用した、MaaS アプリ。ユーザーの日々の移動の利便性をより高めることで、新しい生活スタイルや観光の楽しみ方を提案する。



「複合経路検索」では、鉄道やバスに加え、タクシーやシェアサイクル等を組み合わせた経路検索ができるほか、経路検索結果から連携しているアプリ・サイトへ遷移して、モビリティの予約・決済が可能。

「電子チケットの発行」では、対象エリアでモビリティが乗り降り自由・提示優待などがセットになった企画券や飲食チケットが購入できるほか、ショッピング等に応じて無料でモビリティが利用できる特典チケットを提供。静岡県西部エリアでは、遠州鉄道株式会社が発行する「遠鉄ぶらりきっぷ」 「HAMANAKO RAIL PASS」などの6つの企画乗車券を発売中。

6. 【参考】(※2) EMot (エモット) を活用したグルメイベントについて

浜松まちなかにぎわい協議会が浜松駅周辺で開催するグルメイベント(「はままつスマぐる(スマートグルメ)ウィーク」)。MaaS アプリ「EMot (エモット)」の電子チケット発行機能を活用し、浜松駅周辺の飲食店をアプリで購入したスマホチケットでグルメ巡りが楽しめる。チケット1枚につき、対象の飲食店にて食べ物・飲み物セットを提供。2020年2月12日(水)~18日(火)の期間で開催。

以上